



ねえねえ お・し・え・て!!

お悩みそーだんしつ



■ 今回のお悩みは…… 中学校の成績表の評価が変わる!!

今年度から公立の中学校の評価が変わると聞きましたが、どのように変わるのでしょうか。
(市内在住 中2生徒の母)

相対評価から絶対評価へ

昨年度までは自分と他の生徒とを比較する、いわゆる相対評価でした。決められた人数の割合のもと5段階に評価していました。ですから、いくら5の力があってもつけることができず、教師として辛い結果になることもありました。

今年度からは「目標に準拠した評価」になります。絶対評価ということで学習の到達度により5段階に評価されますが、人数の制限はありません。努力し、力をつければ、みんな5を取ることができるようになりました。

教育現場の指導に当たっている四日市市教育委員会にお聞きしました。

関心・意欲・態度はどのようにはかるのですか。

A：学習経過を大切に評価になりますので、観察・作品・ノート・レポート・学習カードなど多様なもので評価することになります。複数の先生で授業をしたり、少人数で授業したりすることでよりきめ細やかに子どもたちを観察し、評価に妥当性を高めていきます。

子どもたちへの学習の指導方法は変わりますか。

A：変わることを期待しています。「目標に準拠した評価」は、先生だけが目標を知っているのでは十分な効果はありません。学習する子ども自身が、どこまで到達したらよいのか、どのような努力をすればよいのかなどを知っていなくてはなりません。目的意識を持って学習するわけですから、子どものやる気も大きく育つものと思っています。また、自分の力が今どこにあるのかがよく分かるわけですから、到達していない子どもに対しては、補充学習や繰り返し学習などが増えていくと思います。

成績表をもらったとき、保護者は子どもにどのように接したらいいですか。

A：5段階の評定の数字だけではなく、先ず観点別のA、B、Cをじっくり見て欲しいですね。観点別の評価をよく見てどこが十分に到達しているのか、不十分なところはどこかなどを子どもと一緒に考えていただきたいと思います。子どもの今の力を見つめ、決して他の子と比較することのないようにしてください。成績表を契機として、日常の学習姿勢やわからないこと、できないことをそのままにしているかなどを、よく考えていただきたいと思います。
また、成績表の時だけでなく、日頃から子どもの学習の様子に気をつけていただくことが重要で、ときには励ましも大切です。

(Aは四日市市教育委員会指導課 談)

つぶやき -親のつとめ-

- 絶対評価に変わると何が得意で何が苦手なのかわかりやすくなると思います。(中1生徒の母)
- どのように成績表・評価が変わろうとも、高校受験・大学受験のシステムが変わらなければ意味がないと思います。(中3生徒の母)
- 限りなく不安です。競争は実社会に出れば必ずあることなので、それを体感するのも教育なのでは……と思います。(小6児童の母)
- 目先の点数や成績にばかりとらわれていませんか。子どもが将来どんな仕事がしたいのか、いかに責任を持って仕事ができるようになるのか、見守っていくことこそ親のつとめではないでしょうか。(中3生徒の父)

編集部 新しい評価の成績表をご覧になってどのように感じられましたか。皆様のご意見やご感想、子育てのお悩みをお寄せください。